

# ビジネス基礎

教科	商業	単位数	2	学科・学年	総合ビジネス科1年生
使用教科書	「ビジネス基礎」(実教)			副教材等	「ビジネス基礎新訂版問題集」(実教)

## ◇ 学習の到達目標 ◇

- ①ビジネスに関する基礎的な知識と技術を学び、経済社会の一員として望ましい心構えを身に付けます。
- ②ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を身に付けます。
- ③朝のR-timeを通して商業に関する知識・技術の向上を目指す。

## ◇ 科目の特色 ◇

「ビジネス基礎」は、ビジネスに関する基礎的な知識を学び、日常の経済活動の結び付きを理解するための科目です。すべての商業科目の基礎となります。

## ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4   5	1. 商業の学習ガイダンス 2. 経済と流通の基礎	・商業科目の学習を通して、ビジネスの基礎・基本の能力を身に付ける。 ・経済社会の発展や消費者ニーズの多様化による流通活動の変化について事例を考察しながら理解する。 【前期中間考査】
6   9	3. ビジネスの担い手	・流通の意義や役割を身近な事例から理解する。 【前期期末考査】
10   12	4. 企業活動の基礎 5. ビジネスと売買取引	・企業の形態と経営組織などについて、その種類と特徴などを理解する ・ビジネスの意味とその担当者の役割について理解する。 【後期中間考査】
1   3	6. 売買に関する計算 7. ビジネスとコミュニケーション	・売買取引に関する基礎的な知識を理解する。 ・利益率の計算、売買に必要な度量衡、外国通貨の計算や換算について演習を通して理解を深める。 ・ビジネスに対する心構えとコミュニケーションの必要性を理解する。 【後期期末考査】

## ◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	経済社会の一員として望ましい心構えや態度を身に付けているか。
思考・判断・表現	ビジネスに関する諸問題について自ら考察を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して判断し、創意工夫することができるか。
技能	経済社会の一員としてビジネスの諸活動を適切に実践するとともに、その成果を的確に表現できるか。
知識・理解	商業を学ぶ目的や学び方を理解するとともに、ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会におけるビジネスの意義や役割を理解しているか。

このため、具体的には次のものを対象にします。

- ①授業中における学習態度
- ②出席状況
- ③問題集やノートなどの提出物
- ④定期考査・検定試験
- ⑤休暇中の課題と課題テスト

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

## ◇ 担当者からのメッセージ ◇

「ビジネス基礎」はすべての商業科目の基礎となる大切な科目です。できる限り身近な事例を取り上げつつ、商業経済検定3級の取得をめざして学習します。

# 簿記

教科	商業	単位数	6	学科・学年	総合ビジネス科 1年生
使用教科書	「新簿記」(実教出版)			副教材等	「反復式 簿記検定問題集」 (実教出版)他

### ◇ 学習の到達目標 ◇

企業における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術を習得し、簿記の基本的な仕組みについて理解するとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を身に付けます。

### ◇ 科目の特色 ◇

- ①「簿記」とは企業の経営活動を記録・計算・整理する技術のことです。「簿記」を学ぶことにより、企業の財政状態、経営成績を明らかにすることができます。
- ②全商簿記検定試験2・3級に向けての取り組みをします。
- ③朝学習R-timeを通して、基礎基本の定着を図るとともに、商業に関する知識、技術の習得を図ります。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4   6	1. 簿記の基礎 2. 取引の記帳 (その1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簿記の意味を理解し、簿記の五つの要素の増減と純損益の計算をする。</li> <li>・ 純損益の発生原因と純損益の計算をする。</li> <li>・ 取引と勘定の意味を理解し仕訳する。 【前期中間考査】</li> </ul>
7   9	3. 決算 (その1) 4. 帳簿と伝票 5. 決算 (その2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな取引を仕訳しそれぞれの帳簿へ記帳する。</li> <li>・ 決算の意味・手続きを学び報告書を作成する。</li> <li>・ 8桁精算表を理解し作成する。</li> <li>・ 帳簿決算の意味を理解し財務諸表を作成する。</li> <li>・ 3伝票の意味と種類を理解し伝票への起票・集計をする。 【前期期末考査】</li> </ul>
10   12	6. 取引の記帳 (その2) 7. 仕訳帳の分割 8. 本支店会計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 費用・収益の繰り延べと見越し、貸倒見積、有価証券の評価、減価償却を理解する。</li> <li>・ 特殊な取引の意味を理解し仕訳をする。</li> <li>・ 特殊仕訳帳を理解し記帳する。</li> <li>・ 本支店会計の独立本支店間の取引を理解し記帳する。 【後期中間考査】</li> </ul>
1   3	9. 総合演習 ・ 発展学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合問題を行い、理解度を確認する。</li> <li>・ 会計の内容を理解する。 【後期期末考査】</li> </ul>

### ◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	簿記の基本的な仕組みについて関心を持ち、記帳技術を習得するため、課題プリントや問題集等に意欲的に取り組むことができるか。
思考・判断・表現	簿記の基本的知識と記帳能力を養い、自らが簿記会計への関心を深め、進んでその能力や知識を高めることができるか。
技能	伝票の起票や主要簿、補助簿などに適正に記入することができるか。財務諸表の作成に当たり、原則に従って行うことができるか。
知識・理解	帳簿や財務諸表を通して、財務分析、企業分析が的確にできるか。

このため、具体的には次のものを対象にします。

- ①授業中における学習態度
- ②問題集やノートなどの提出物
- ③定期考査
- ④検定試験
- ⑤休暇中の課題と課題テスト

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

全商簿記検定試験2・3級取得に向けて取り組みます、2年次で学習する「会計」につながるように基礎・基本をしっかりと学習しましょう。

# 簿記

教科	商業	単位数	5	学科・学年	総合ビジネス科 1年生 進学クラス
使用教科書	「新簿記」(実教出版)			副教材等	「反復式 簿記検定問題集」 (実教出版) 他

### ◇ 学習の到達目標 ◇

企業における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術を習得し、簿記の基本的な仕組みについて理解するとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を身に付けます。

### ◇ 科目の特色 ◇

- ①「簿記」とは企業の経営活動を記録・計算・整理する技術のことです。「簿記」を学ぶことにより、企業の財政状態、経営成績を明らかにすることができます。
- ②全商簿記検定試験 2・3 級に向けての取り組みをします。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4   6	1. 簿記の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簿記の意味を理解する。</li> <li>・ 簿記の五つの要素の増減と純損益の計算をする。</li> <li>・ 純損益の発生原因と純損益の計算をする。</li> <li>・ 取引と勘定の意味を理解し仕訳する。 【前期中間考査】</li> </ul>
7   9	2. 取引の記帳 (その 1) 3. 決算 (その 1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勘定記入の方法と取引の分解と勘定記入を理解する。</li> <li>・ 試算表と精算表の意味を理解し作成する。</li> <li>・ いろいろな取引を仕訳しそれぞれの帳簿へ記帳する。</li> <li>・ 決算の意味・手続きを学び報告書を作成する。</li> <li>・ 8 桁精算表を理解し作成する。 【前期期末考査】</li> </ul>
10   12	4. 帳簿と伝票 5. 決算 (その 2) 6. 取引の記帳 (その 2) 7. 仕訳帳の分割 8. 本支店会計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帳簿決算の意味を理解し財務諸表を作成する。</li> <li>・ 3 伝票の意味と種類を理解し伝票への起票・集計をする。</li> <li>・ 費用・収益の繰り延べと見越し、貸倒見積、有価証券の評価、減価償却を理解する。</li> <li>・ 特殊な取引の意味を理解し仕訳をする。</li> <li>・ 特殊仕訳帳を理解し記帳する。 【後期中間考査】</li> <li>・ 本支店会計の独立本支店間の取引を理解し記帳する。</li> </ul>
1   3	9. 総合演習 ・ 発展学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合問題を行い、理解度を確認する。</li> <li>・ 会計の内容を理解する。 【後期期末考査】</li> </ul>

### ◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	簿記の基本的な仕組みについて関心を持ち、記帳技術を習得するため、課題プリントや問題集等に意欲的に取り組むことができるか。
思考・判断・表現	簿記の基本的知識と記帳能力を養い、自らが簿記会計への関心を深め、進んでその能力や知識を高めることができるか。
技能	伝票の起票や主要簿、補助簿などに適正に記入することができるか。財務諸表の作成に当たり、原則に従って行うことができるか。
知識・理解	帳簿や財務諸表を通して、財務分析、企業分析が的確にできるか。

このため、具体的には次のものを対象にします。

- ①授業中における学習態度
  - ②問題集やノートなどの提出物
  - ③定期考査
  - ④検定試験
  - ⑤休暇中の課題と課題テスト
- また 1 年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

全商簿記検定試験 2・3 級取得に向けて取り組みます、2 年次で学習する「会計」につながるように基礎・基本をしっかり学習しましょう。